News Release

株式会社山陰合同銀行
〒690-0062 島根県松江市魚町 10
TEL.0852-55-1000
https://www.gogin.co.jp

2022 年 3 月 17 日

キンボシ株式会社による
「ごうぎん SDGs 経営応援サービス」の利用について

山陰合同銀行（頭取　山崎 徹）では、「ごうぎん SDGs 経営応援サービス」を通じて、キンボシ株式会社（本社：兵庫県小野市、代表取締役　田中 隆夫）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

【企業概要】

１．会社名	キンボシ株式会社
２．所在地	兵庫県小野市本町10番地
３．代表者	田中　隆夫
４．業　種	園芸用品卸売業
５．SDGsへの取り組み	当社主力商品である『芝刈機』をお客様に安心・安全にご利用いただけるよう、日々事業活動に邁進しております。 今後もお客様の心豊かな余暇生活を充実させる商品のご提供により、お客様ひとりひとりのワークライフバランスの実現に寄与し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※「SDGs宣言」および「ごうぎんSDGs経営応援サービス」の概要は別紙をご参照ください。

以　上

山陰合同銀行グループは、国連の定めた持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の趣旨に賛同し、
地域の課題解決に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現を目指します。
※ＳＤＧｓ(Sustainable Development Goals の略）：2015 年 9 月の総会決議で国連加盟国が採択した、
2030 年までに達成を目指す 17 の持続可能な開発目標と、これを達成するための 169 のターゲットのこと。

キンボシ株式会社
SDGs宣言書

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、

持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年2月25日

キンボシ株式会社
代表取締役　田中　隆夫

◆経営方針
『常に新風を吹き込む企業』
◆目指す姿
・堅実経営に徹し、会社の隆盛と永続性を期します。
・社業に従事する全ての人の生活向上に繋がる職場を目指します。
・常に前進し、皆様から信頼される企業を目指します。

SDGsの達成に向けた取り組み

日本のものづくり

ＳＤＧｓの取り組みを通じて、お客様・従業員・地域社会からの信頼獲得に努め、企業価値の向上を図ります。

＜具体的な取り組み＞

安心・安全・日本製へのこだわりを基本姿勢として、いつまでも使い続けることが出来る製品を送り出します

― 関連ゴール ―

サステナブル製品の開発・提供

持続可能な社会の実現のため、サステナブルな製品の提供を推進致します。

＜具体的な取り組み＞

3R(Reduce/Reuse/Recycle)可能な商品の開発・提供／販売後のアフターメンテナンス実施による長期的な製品利用促進

― 関連ゴール ―

環境緑化へ向けた取り組み

持続可能な社会の実現のため、環境意識を向上させ、ゼロカーボンへの取り組みに積極的な関与をします。

＜具体的な取り組み＞

従業員に対する、ポスター掲示等による普及・啓発／社内ペーパレス化の推進による環境保護への寄与／Ｊ－クレジット制度の活用／エコカーの導入

― 関連ゴール ―

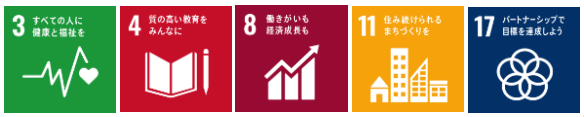
地域への貢献

自社のリソースを最大限活用し、地域へ貢献する活動を行います。

＜具体的な取り組み＞

ガーデニングフェスティバル・フラワーガーデンショーの開催／ガーデニングの普及、啓蒙活動／地域イベントへの参加・協賛／地域のシニア人材の積極雇用

― 関連ゴール ―



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable　Development　Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【別紙】

【本サービスの概要】

１．名　　称	ごうぎんSDGs経営応援サービス
２．対象となる方	当行と取引のある法人および個人事業主のお客様
３．サービス内容	【無料サービス】 ・チェックシートを活用して、お客様のSDGsへの取り組み状況について把握を行い、結果レポートを作成いたします。 ・作成した結果レポートにより診断結果をお客様に提供いたします。 【有料サービス（５５，０００円税込み)】 ・お客様との面談、結果レポートの活用により、ホームページへの掲載等に使用可能な「SDGs宣言」の策定をサポートいたします。 ・またご希望により、当行からニュースリリースを実施し、対外的な情報発信をいたします。

※チェックシートの作成については、地域企業のSDGsへの取り組み支援に賛同いただいた損害保険ジャパン株式会社およびSOMPOリスクマネジメント株式会社に協力いただいています。